

平成 27 年度

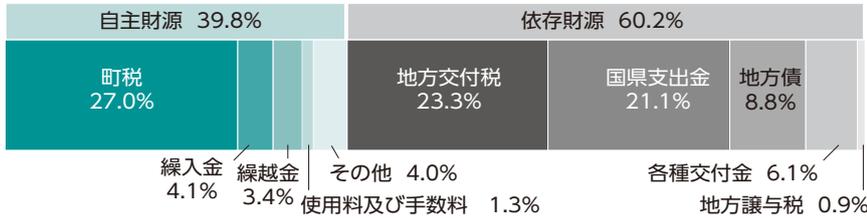
決算報告

9月の定例議会で、平成27年度の一般会計と3つの特別会計、2つの公営企業会計の決算が認定されました。その主な内容をお知らせします。

問い合わせ 総務課へ

一般会計収入総額

105 億 7,423 万円



一般会計支出総額

100 億 6,272 万円



実質収支は
4億2千421万円の黒字

平成27年度の一般会計決算額は、前年度に比べて収入・支出ともに増加し、過去最大の規模となりました。収入と支出の差引額から平成28年度に繰り越す必要がある財源の8千730万5千円を除いた実質収支額は、4億2千421万円の黒字となりました。

「魅力ある元気な
まちの姿」が形に

「第5次総合計画前期基本計画」の総仕上げに取り組んだ平成27年度、JR海老津駅南側道路等整備事業や定住促進対策事業、保育所の充実、情報プラザ人の駅へのブックカフェの開設、観光ステーション北斗七星を拠点とした観光事業の展開などを重点的に行いました。また「まち・ひと・しごと創生総合

戦略」と「第5次総合計画後期基本計画」を策定。人口減少社会の到来など社会動向の変化を踏まえ、今後の町の発展に向けた準備に取り組みました。

健全な財政運営を

財政状況の余力を示す経常収支比率は、前年度に比べ4.0ポイント改善し、88.9パーセントとなりました。しかし、自主財源の柱である町税は減少。この傾向は今後も続くが見込まれます。

今後、社会保障関連経費の増加などで厳しい財政状況が続くと考えられますが、さまざまな施策を着実に実行し、将来の収入の確保に取り組みます。また、公共施設の維持管理経費の削減などに努め、健全な財政運営を行います。財政状況の詳しい内容は7ページをご覧ください。



「魅力ある元気なまちの姿」が
目に見える形に

輝き

—自然の恵みを守り活かし輝くまち—



観光振興

4,786 万円

観光協会と連携し、「観光ステーション北斗七星」を拠点としたイベントや町内ツアーを開催。町の魅力の発信やPRを積極的に展開し、観光客の誘致を行いました。

農業基盤整備の促進

8,597 万円

農作物の生産効率を向上させるため、糠塚地区や新松原地区の農地の排水を良くする整備を行いました。



その他の取り組み

■豊かな自然を愛し、環境と共生するまちをつくります

- 地球温暖化の防止対策 676 万円
- 森林保全対策 535 万円
- 荒廃森林の再生 446 万円
- 環境啓発・人材育成 190 万円

など

■地の恵み・地の利を活かした活力ある産業を育てます

- 新規就農者の支援 915 万円
- 漁業者の支援 427 万円
- プレミアム付商品券の発行 5,349 万円
- 商工業者の資金調達支援 5,000 万円

など

取り組んだ内容を紹介します

第5次総合計画に掲げるキーワードごとに

安全安心

—みんなが安全で安心して暮らせるまち—



JR 海老津駅南側道路等の整備

5億5,382万円

平成23年度から行っている海老津・白谷線道路工事、自由通路工事、駅南側広場工事を引き続き進めました。これらの工事は、平成28年度中に完成する予定です。

詳しくは広報おかがき10月25日号でお知らせします。

道路・排水路環境の整備

2億2,383万円

住民生活に密着した道路・排水路環境を良くするため、新海老津地内の歩道などの町道や東山田、高陽団地などの排水路を整備しました。また、2つの橋の補修工事を行いました。



消防施設の更新・充実

3,713万円

消防団の車両更新やデジタル無線の整備、防火水槽の整備を行い、消防・防災体制を充実させました。

その他の取り組み

■みんなが安全で快適に暮らせるまちをつくります

- コミュニティバスの運行など 6,104万円
- 定住促進対策 2,611万円
- 情報プラザ人の駅の管理運営 4,454万円
- 公園の改修整備など 885万円
- 岡垣サンリーアイの台風被害からの復旧 5,458万円
- など

■みんなが健やかで安心して暮らせるまちをつくります

- いこいの里の管理運営(火災復旧含む) 8,277万円
- 自立支援サービスの実施 5億2,235万円
- 高齢者インフルエンザ予防接種などの実施 2,417万円
- 介護予防サービスの実施 3,336万円
- 岡垣交番の移転準備 563万円
- など

心の豊かさ

—地域を愛し、心豊かな人が育つまち—



民間小規模保育施設 開設の支援

4,701 万円

待機児童を減らすため、民間の小規模保育施設の開設を支援しました。



岡垣サンリーアイの 管理運営など

3 億 1,298 万円

地域住民との協働の文化づくりを目指し、文化・スポーツ事業を展開しました。また、照明のLED化を進めるなど施設の改善に取り組みました。

小中学校への扇風機設置

4,427 万円

児童・生徒の健康管理や教育環境の充実のため、夏の暑さ対策として各小中学校の教室に扇風機を設置しました。



その他の取り組み

■子どもたちが安心して学び、心豊かに育つまちをつくります

○母子健康づくりの支援	2,547 万円
○こども未来館の運営など	3,177 万円
○小中学校の施設整備	1 億 4,643 万円 など

■地域に誇りをもち、個性あふれる人材を育てます

○体育施設などの維持・整備など	1,669 万円
○公民館講座の実施	376 万円
○文化財保存展示施設の運営など	135 万円 など

計画の推進



第 5 次総合計画後期 基本計画などの策定

1,123 万円

「第 5 次総合計画後期基本計画」、「岡垣町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。今後、「元気で魅力あるまち」の実現に向け、計画に掲げた施策を着実に実行します。

その他の取り組み

○庁舎の耐震化	4,619 万円
○自治区や校区コミュニティへの活動支援	3,094 万円
○公共施設白書の作成	540 万円 など

数値から見る

まちの財政状況

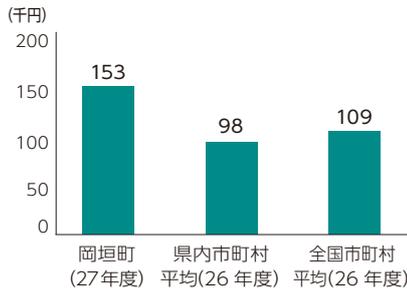
一般会計の「基金」「借入金」の残高を、全国・県の市町村平均と比べながら、町の財政状況や将来のことを考えます。

基金

総残高 52億6千674万円

基金には、公共施設の整備や借入金の返済など将来の支出に備えて資金を積み立てる特定目的基金や定額の資金を運用するための定額運用基金などがあります。定額運用基金を除いた残高は49億4千551万円。住民一人当たりの残高は15万3千円になります。

■住民一人当たりの基金残高

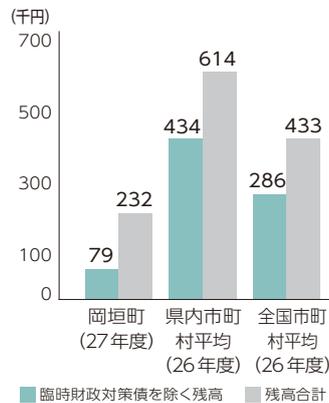


POINT 国や県と比べ、多くの基金を積み立てています。

借入金

総残高 75億218万円

■住民一人当たりの借入金残高



借入金残高は増加傾向にあり、主な原因は平成13年度から借り入れている臨時財政対策債です。町の借入金残高の66パーセントを占めています。臨時財政対策債とは地方交付税の不足分を町の肩代わりをして借り入れるものです。この返済費用は、今後国から受ける地方交付税で補われる仕組みになっています。

POINT 過去から地方債の借り入れを行わず、計画的に財政運営を行ってきたため、借入金残高が国や県と比べても少なくなっています。

特別会計

国民健康保険事業

収入 43億 300万円
支出 43億 4,831万円

国民健康保険加入者の保険給付や保健事業を行う会計です。主な収入は加入者が納めた保険税、国や県からの負担金や補助金などです。そのほかに、一般会計からの繰入金などがあります。主な支出は保険給付費26億7,118万円、共同事業拠出金9億5,211万円などです。平成27年度は、4,531万円の赤字となり、平成28年度収入から不足分を補いました。

後期高齢者医療事業

収入 5億4,007万円
支出 5億2,861万円

後期高齢者医療制度の保険料の徴収などを行う会計です。主な収入は保険料と一般会計からの繰入金。主な支出は後期高齢者医療広域連合への納付金です。

住宅新築資金等貸付事業

収入 360万円
支出 77万円

主に住宅新築資金の貸付金の回収と借入金の返済を行う会計です。

町の財政状況は健全です

左の表を見ると、町の財政状況は国が定めた基準よりも良好な状態であることが分かります。

健全化判断比率の一つに「将来負担比率(表中の⑥)」という指標があります。下の図のとおり、町は将来負担額より、その支払いに充てられる財源が多いため、将来負担比率が数値なしとなっています。このことから、町は基金を多く保有し、借入金残高が少なく財政状況は健全だと言えます。

■健全化判断比率などから見る財政状況

指標	岡垣町	国が定めた基準	
		早期健全化基準 ※ 2	財政再生基準 ※ 3
経常収支比率①	88.9		
財政力指数②	0.54		
実質赤字比率③	— ※ 1	14.35	20.0
連結実質赤字比率④	— ※ 1	19.35	30.0
実質公債費比率⑤	4.2	25.0	35.0
将来負担比率⑥	— ※ 1	350.0	

- ※ 1 該当しないため「—」と表示
- ※ 2 この値を超えると、財政破たん寸前といえる値
- ※ 3 この値を超えると、財政が国の管理下に置かれる値

【用語の解説】

①経常収支比率(%)

財政状況の余力を示す数値。人件費などの経常的に支出される経費と町税などの経常的に収入される一般財源との比率で、数値が低いほど財政状況に余力があるとされている。岡垣町の比率は前年度より 4.0 ポイント改善。

②財政力指数

町の財政力を表す指標。「1」に近いほど財源に余裕があるとされている。

③実質赤字比率(%)

普通会計の赤字から財政運営の深刻度を表す指標。

④連結実質赤字比率(%)

すべての会計の赤字から財政運営の深刻度を表す指標。

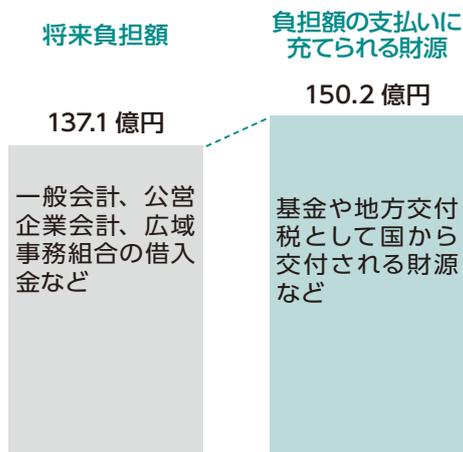
⑤実質公債費比率(%)

借入金の返済額などの大きさから、資金繰りの危険度を表す指標。

⑥将来負担比率(%)

町が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を表す指標。

■将来にわたる財政負担



平成 27 年度

公営企業会計 ・ 特別会計

公営企業会計

水道事業

■収益的収支	収入	4 億 8,875 万円
	支出	4 億 6,982 万円
■資本的収支	収入	1 億 5,299 万円
	支出	3 億 3,601 万円

皆さんに安定して「おいしい水」を供給するための会計です。主な収入は水道料金。主な支出は浄水場や配水池の維持管理費です。

3つの特別会計と2つの公営企業会計の、平成 27 年度決算額をお知らせします。

※収支金額は税抜き金額。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています

下水道事業

■収益的収支	収入	9 億 6,582 万円
	支出	8 億 9,586 万円
■資本的収支	収入	5 億 7,778 万円
	支出	8 億 2,524 万円

快適な生活を送るための下水道の整備や維持管理を行う会計です。主な収入は下水道使用料や受益者負担金、一般会計からの繰入金などです。主な支出は下水道の施設工事費、浄化センターの維持管理費です。